

国家的・広域的な課題

■ 生物の多様性の損失や天然資源の減少、地球温暖化の進展等、地球規模での環境問題が深刻化する中で、道北の豊かな自然環境を国民共通の資産として将来にわたって継承するため、自然共生社会、循環型社会、脱炭素社会の構築に向けた取組を総合的に進め、持続可能な地域社会の構築を図る必要があります。2050年カーボンニュートラル(ゼロカーボン北海道)の実現に向け、道北地域に豊富に賦存する風力、地熱を始め、バイオマス、水力、太陽光等の再生可能エネルギーの導入等、温室効果ガス排出削減対策等に取り組む必要があります。また、我が国の気候変動対策及びエネルギー安全保障強化の観点から、このような低炭素で多様な国産エネルギー源のポテンシャルを最大限に活用する必要があります。

地域のめざす姿(令和7年の地域の将来像)

■ 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり

連携地域の主な施策の方向(今後5年程度)

- ・脱炭素型の地域づくりの実現に向け、自然特性を活かした風力、太陽光、雪氷、地熱、木質バイオマスなどを活用した新エネルギーなどの導入や普及を推進
- ・野生鳥獣の適正な保護管理・利活用のための取組の推進

プロジェクトの概要

サロベツ原野に代表される地域の自然環境の保全に配慮し、農地、河川、湖沼、海域が保全する環境保全機能の維持回復を図ることで、豊かな生態系との共生や循環型社会の形成、脱炭素社会や2050年カーボンニュートラル(ゼロカーボン北海道)の実現に向けた取組を推進します。また、風力を始めとする豊富な再生可能エネルギー源を活用して、エネルギーの地産地消を進めるなど北のエネルギー拠点を目指します。

主な取組

- 河川周辺の環境の保全
 - ・河川・ダム湖等の水辺周辺の緑の保全を図るとともに、多様な生物種の生息・生育環境の確保を図るため多自然川づくりを推進します。
 - ・多様な動植物の生息環境を確保するため、汽水環境の再生を図ります。
 - ・河川を身近な自然体験の場として活用するため、良好な水辺環境を整備します。
- 北海道遺産である天塩川における環境整備の推進
 - ・魚類の連続性確保(魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討)
 - ・下流汽水域の環境保全整備
 - ・旧川(河川改修等により水が流れていない昔の河道)の環境整備
- 環境に配慮した整備の促進
 - ・水生生物の生息環境に配慮した構造の防波堤などの整備を図ります。
 - ・水路の自然護岸化、魚道の設置など生物の移動経路を確保した農業用排水施設の整備を図ります。
 - ・動植物の生息環境に配慮した道路整備を図ります。
 - ・河川の水質に配慮した排水施設の整備を図ります。
- 農業とサロベツ湿原の共生に向けた整備
 - ・農業と湿原の共生に向けた関係機関との連携をもとに、緩衝帯や沈砂池を設置します。
- 環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現
 - ・再生可能エネルギーの導入や地域分散型エネルギーシステムの導入の促進。

令和5年度の具体的な施策内容

- 【河川】
 - ・魚類等の生息・産卵環境の復元に配慮した河床洗掘対策(石狩川上流 南永山地区)の推進
 - ・水際の多様化に配慮した河道掘削と河岸保護(石狩川上流辺別川地区、天塩川上流美深地区)の推進
 - ・サンルダム湖周辺環境保全の推進
 - ・魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討の推進(天塩川流域)
 - ・魚類等の生息環境の保全・改善、魚類の移動の連続性確保
 - ・まちづくりと一体となった水辺整備を推進(天塩川)
 - ・汽水環境の整備(天塩川)
 - ・魚類等の移動の連続性及び生息環境の保全(天塩川)
- 【道路】
 - ・国道40号天塩防災
 - ・国道238号浜猿防災
- 【農業】
 - ・天塩川の水質に配慮した暗渠排水疎水材(石灰石)を使用した整備(産士地区、幌延地区)

令和7年度(5年後)の目標

- 【河川】
 - ・魚類等の生息・産卵環境の復元に配慮した河床洗掘対策(石狩川上流 南永山地区)の推進
 - ・水際の多様化に配慮した河道掘削と河岸保護(石狩川上流、天塩川上流)の推進
 - ・サンルダム湖周辺環境保全の推進
 - ・魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討の推進(天塩川流域)
 - ・天塩川中上流地区における自然再生事業の推進
 - ・魚類等の移動の連続性及び生息環境の保全の推進(天塩川)
 - ・まちづくりと一体となった水辺整備の推進(天塩川)
 - ・汽水域等の環境整備の推進(天塩川)

- 【道路】
 - ・国道40号天塩防災の推進(R5部分開通予定)
 - ・国道238号浜猿防災の推進(R4部分開通、R6部分開通予定)

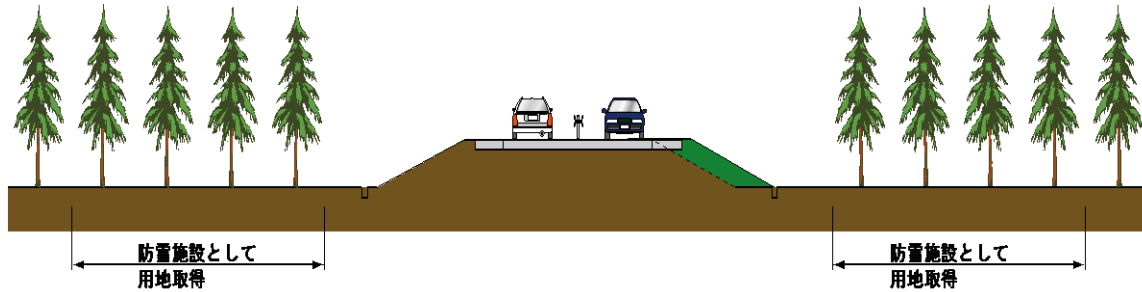
- 【農業】
 - ・国営かんがい排水事業(当麻永山用水地区(小水力発電))(R4完了)
 - ・国営総合農地防災事業(産士地区、幌延地区)の推進

- 天塩防災周辺は、利尻礼文サロベツ国立公園に近接する自然豊かな地域であり、国道沿線に防雪対策で設置される防雪林は、自然環境を保全し多様な生物の生育環境に配慮しています。
- 湿原の地下水位保持を目的に「緩衝帯」を、河川への土砂流出軽減を目的に「沈砂池」を設置しています。
- 豊かな生態系との共生や循環型社会の形成、脱炭素社会や2050年カーボンニュートラル（ゼロカーボン北海道）の実現に向けた取組を推進します。

道路

天塩防災（一般国道40号）

豊かな自然環境保全



国道40号の防雪林

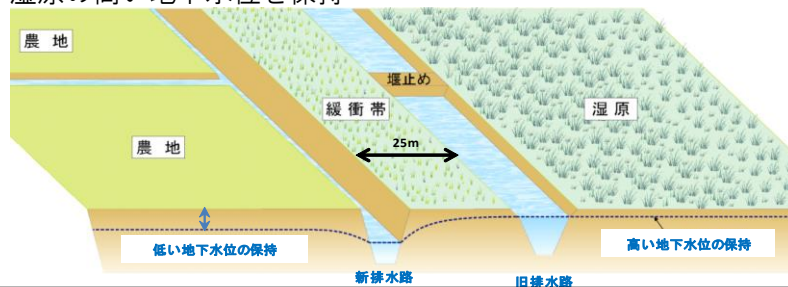
農業

国営総合農地防災事業（サロベツ地区）

農業と湿原の共生に向けた自然再生事業（R2完了）

緩衝帯

- 農地と湿原に適した地下水位の均衡を図るための緩衝帯を設置
- 農地側の新排水路により農地の低い地下水位を保持
- 湿原側の旧排水路は水を数力所でせき止めて池にすることで、湿原の高い地下水位を保持



沈砂池

- 土砂流出量を軽減し、湿原や河川に対する負荷を軽減するため、各排水路の下流部に沈砂池を設置
- 堆積土砂は、地域資源として有効利用



国家的・広域的な課題

■ 近年、降雨の局地化・集中化・激甚化や異例の降雪が発生し、風水害や土砂災害等が多発しています。今後も気候変動に伴う災害に耐える重要なインフラ等の機能維持、激甚化・頻発化する災害等対応を進める必要があります。道北地域は海岸線や山間に集落が形成され、唯一の幹線道路に依存し、地域の生産活動が行われています。安全安心の確保は、国民生活や経済社会の安定を図るための前提条件であり、オホーツク海や日本海沿岸部の防災対策のほか、石狩川、天塩川、留萌川等の治水対策、十勝岳の火山泥流対策、津波や地震、冬期複合災害等への対策、厳冬期避難体制の拡充、冬期交通の安全性の確保、港湾や漁港等における波浪対策等の防災・減災対策、国土強靭化施策を推進し集中的に老朽化対策を実施する必要があります。一方、道北地域は、首都圏の大都市から遠距離にあり、大規模災害発生時において同時に被災する可能性が少ないので、国家的規模の災害時に後方支援等のバックアップ機能を発揮し、我が国全体に貢献することが必要です。

プロジェクトの概要

道北地域では、近年、特に石狩川や留萌川、天塩川等の洪水被害や、地震・津波による被害、大雨や冬期間の地吹雪等の影響による通行止めが発生しています。今後も気候変動により、災害が更に頻発、激甚化することが懸念されており、洪水・地震・津波・火山対策、土砂災害や冬期複合災害等に備えるハード、ソフト一体となった防災・減災、国土強靭化対策を加速化し、重点的かつ集中的に対策を講じることにより、多様な主体と連携した地域防災力の高い安全・安心な地域づくりを目指します。

主な取組

- 石狩川・留萌川及び天塩川の洪水に対する安全性向上
 - ・ 近年被災した河川における再度災害を防止する対策等の推進
 - ・ 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組の推進
 - ・ 水害等から人命と財産を守る河川改修、ダム等の整備促進
 - ・ 災害時における水防活動や災害復旧のための拠点の整備
 - ・ 農業用ダムや頭首工改修等による農地の洪水災害の未然防止
- 流域のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水プロジェクト」の推進
- 地震、津波等に対する安全性向上
 - ・ 法面対策、耐震補強、豪雨対策、越波対策、予防保全事業等による安全快適な道づくりの推進
 - ・ 船舶を波浪から守る防波堤などの外郭施設の整備 ・ 道路の防災、老朽化対策、無電柱化、代替性確保のための道路ネットワーク整備の推進
- 土砂災害に対する安全性向上
 - ・ 十勝岳の火山泥流対策として、砂防施設の整備促進
 - ・ 土石流から下流域の安全度を向上させるための砂防事業の推進
- 地吹雪対策などによる冬期交通の安全性等向上
 - ・ 冬期間の猛烈な地吹雪などによる通行止め解消や交通事故防止のため、効率的な除排雪の実施や、雪崩防止施設、防雪林等の整備
 - ・ 冬期間における稚内空港の信頼性向上に資する就航率改善対策
- 地域防災力向上の取組推進
 - ・ 迅速かつ円滑な災害対応に向けた防災関係機関の連携強化
 - ・ 空知川幾黄地区における水位周知河川等への指定、浸水想定区域図の公表、避難勧告等発令に着目したタイムラインの作成など、住民避難を促すためのソフト対策を推進
 - ・ ハザードマップ作成・普及支援や講習会実施等地方公共団体の防災力向上推進
 - ・ 防災教育・指導者養成支援や防災訓練実施等地域との協働による減災・防災対策の取組
 - ・ 十勝岳の観測監視体制の充実 ・ 防災関係機関が連携した災害対策を支援するための防災情報共有化推進
 - ・ サハリンプロジェクト関連等の油流出事故に対応し、北海道北部沿岸域における油防除対策機能の検討
 - ・ 「道の駅」の防災機能強化の推進
- 災害時の支援体制の充実
 - ・ 現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、水土里（みどり）災害派遣隊等の派遣、除雪機械や災害対策用資機材の貸与等、きめ細やかな地域支援やバックアップ体制の強化

地域をめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・ 地域医療と保健・福祉の充実、少子化対策に向けた取組の推進
- ・ 感染症に強い地域を目指し、必要な検査及び医療を迅速かつ適切に提供するなど、安全・安心な社会経済活動に向けた取組の推進
- ・ 災害に強いインフラの整備と防災・減災体制の充実・強化
- ・ コンパクトなまちづくりや高齢者が暮らしやすい環境づくりの推進
- ・ 地域を支える多様な人材の育成・確保と移住・定住の促進やワーケーションの推進など関係人口の創出・拡大に向けた取組の推進

令和5年度の具体的な施策内容

- 【河川】
 - ・ 石狩川上流河川改修事業の促進（河床洗掘対策（南永山地区）、忠別川河岸侵食対策（千代田地区）、刃別川堤防整備）
 - ・ 火山砂防事業（美瑛川堰堤部掘削）の推進
 - ・ 水系砂防事業（層雲峡地区遊砂土工、白川砂防堰堤）の推進
 - ・ 天塩川上流河川改修事業の促進（河道掘削及び堤防整備（美深地区、楠地区））
 - ・ 治水安全度向上のための河川改修（堤防整備、法尻補強、天端保護、樹木伐採、導流堤改築等）（天塩川下流・留萌川）
 - ・ 水防連絡協議会の開催（天塩川・留萌川） ・ 減災対策協議会の開催（天塩川・留萌川）
 - ・ 水防技術講習会の実施（天塩川・留萌川）
- 【道路】
 - ・ 北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄） ・ 国道39号比布大橋架替 ・ 国道40号音威子府バイパス
 - ・ 旭川十勝道路（富良野北道路）
 - ・ 北海道縦貫自動車道（中川～天塩）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
 - ・ 旭川十勝道路（上富良野～中富良野）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
 - ・ 国道232号小平防災 ・ 国道40号天塩防災 ・ 国道232号高砂橋架替 ・ 国道239号霧立防災
 - ・ 国道238号浜猿防災 ・ 国道40号稚内中央電線共同溝 ・ 国道40号稚内港電線共同溝
 - ・ 国道238号幌別橋架替 ・ 国道237号 湯の沢橋架替 ・ 地方道路防災連絡協議会の開催
- 【港湾】
 - ・ 港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤・物揚場・岸壁等の整備（留萌港・増毛港・羽幌港・天塩港・稚内港・枝幸港・鷺泊港・杓形港・香深港）
- 【漁港】
 - ・ 漁船航行の安全性向上のための防波堤等の整備（遠別漁港・礼文西漁港）
- 【農業】
 - ・ 国営総合農地防災事業（機能低下が生じた 農業用排水路及び農用地の機能回復）（産土地区・勇知地区・幌延地区）
- 【共通】
 - ・ 災害時における現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、水土里（みどり）災害派遣隊等の派遣、除雪機械や災害対策用資機材の貸与等

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】
 - ・ 石狩川上流河川改修事業の促進（河床洗掘対策（南永山地区）、忠別川河岸侵食対策（千代田地区）、支川の合流点整備（近文地区）（R4完了）） ・ 火山砂防事業（美瑛川堰堤部掘削）の推進 ・ 水系砂防事業（層雲峡地区遊砂土工、白川砂防堰堤）の推進
 - ・ 天塩川上流河川改修事業の促進（河道掘削及び堤防整備（美深地区、楠地区）） ・ 天塩川下流での河川改修（河道掘削、樹木伐採、築堤、天端保護）の推進 ・ 留萌川での河川改修（河道掘削、導流堤改築、排水機場耐水化、法尻補強、築堤）の推進
- 【道路】
 - ・ 国道39号比布大橋架替の推進 ・ 国道40号音威子府バイパスの推進（R7開通予定） ・ 国道238号浜猿防災の推進（R4部分開通、R6部分開通予定）
 - ・ 北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進 ・ 北海道縦貫自動車道（中川～天塩）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
 - ・ 旭川十勝道路（富良野北道路）の推進 ・ 旭川十勝道路（上富良野～中富良野）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
 - ・ 国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定） ・ 国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定） ・ 国道239号霧立防災の推進（R4部分開通）
 - ・ 国道40号稚内中央電線共同溝の推進 ・ 国道40号稚内港電線共同溝の推進 ・ 国道238号幌別橋架替の推進 ・ 国道232号小平防災の推進
- 【港湾】
 - ・ 港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、増毛港、羽幌港、天塩港・稚内港・枝幸港・鷺泊港・杓形港・香深港）
- 【漁港】
 - ・ 漁船航行の安全性向上のための防波堤等の整備の推進（遠別漁港・抜海漁港（R4完了）・礼文西漁港）
- 【農業】
 - ・ 国営総合農地防災事業（産土地区・勇知地区・幌延地区）の推進

- 地方港湾及び第4種漁港の港内静穏度向上等により、航路の安全・安心を確保します。
- 地吹雪対策や道路損壊の整備等により、道路の安全な通行の確保を目的とした防災事業を実施します。
- 災害等に備えるハード、ソフト一体となった防災・減災、国土強靱化対策を加速化し、重点的かつ集中的に対策を講じることにより、多様な主体と連携した地域防災力の高い安全・安心な地域づくりを目指します。

港湾・漁港

連携

地域防災力向上のための〈支援メニュー〉

連携

道路

地方港湾の整備

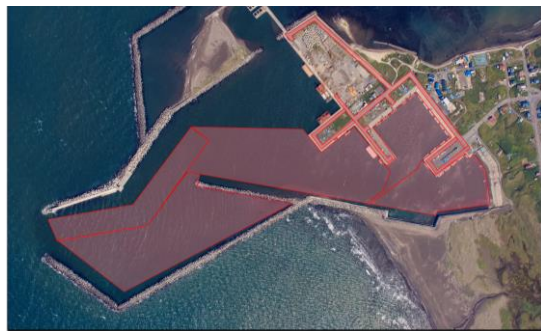
岸壁前面擾乱状況



【沓形港・香深港】

防波堤の整備により、耐震強化岸壁やフェリー岸壁の前面の波を静め、生活航路の安全・安心を確保します。

第4種漁港の整備



【抜海漁港】

漁船の安全な出入港を確保するため、航路・泊地の浚渫を行います。

1 防災体制の強化



- 自治体と連携した防災訓練の実施
- 防災意識向上のための講演会等の実施 など

2 災害発生時の支援



- TEC-FORCE派遣
- 災害対策用機械による支援 など

3 災害に強い地域づくり

- 防災・安全交付金
- 津波防災地域づくり法

宗谷地方道路防災連絡協議会

- 道路利用者、道路管理者、防災機関、各種団体が協力して災害の予防・軽減、被害の拡大防止を図ります。



協議会構成員（委員70名）
稚内開発建設部、宗谷総合振興局、市町村、稚内地方气象台、警察、消防、事業者団体等

浜猿防災（一般国道238号）

【地吹雪の状況】



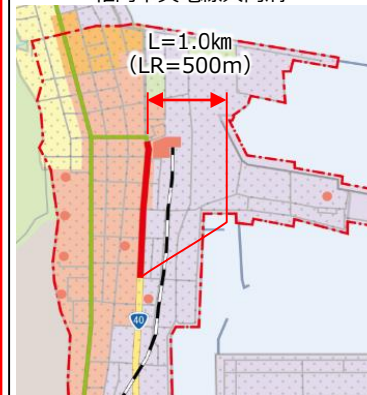
【高波による道路損壊】



国道238号が通行止めになると、稚内市及び近隣市町村への行き来が困難になるため、浜猿防災整備により移動の安全性・確実性向上が期待されます。

稚内中央電線共同溝（一般国道40号）

事業区間
稚内中央電線共同溝



（稚内市中央地区）

無電柱化整備により災害時の電柱倒壊等による交通障害を防ぎ、第1次緊急輸送道路における防災拠点（地域災害拠点・病院等）と交通結節点や観光拠点間の経路確保が期待されます。

国家的・広域的な課題

■道北地域は、広大で離島も有しており、医療過疎・医療格差が更に拡大しています。第1次産業を支え、観光資源を提供する生産空間の維持を図り、地域で安心して生活し、生産活動に従事していけるような、医療サービスを受けられる体制を整える必要があります。また、旭川空港や稚内空港、留萌港や稚内港などの交通拠点を整備し、連結することによりインバウンドを含めた観光客の増大、自給率が高く品質の良い農林水産品の輸出や高付加価値化を図る必要があります。同時に災害時の緊急避難ルートを確認するために高規格道路等のミッシングリンクを解消するなど交通ネットワークを早期に整備する必要があり、地域交通の課題に応じた人流・物流システムの構築、片荷の解消に向けた物流の改善、保管倉庫の整備、地方部の交通課題の解決が必要です。JR北海道が厳しい経営状況の下で、列車の減便や駅の廃止を進めており、今後の人々の生活や経済を支える鉄道の維持、地域の公共交通の確保・持続可能性が課題となっています。

■道北地域は、南北に広がっており、生産空間を維持するため、交通ネットワークを強化し、圏域内で必要な医療を受けられる体制を整える必要があります。また、旭川空港や稚内空港、留萌港や稚内港などの交通拠点を整備し、連結することによりインバウンドを含めた観光客の増大、自給率が高く品質の良い農林水産品の輸出や高付加価値化を図る必要があります。同時に災害時の緊急避難ルートを確認するために高規格道路等のミッシングリンクを解消するなど交通ネットワークを早期に整備する必要があり、地域交通の課題に応じた人流・物流システムの構築、片荷の解消に向けた物流の改善、保管倉庫の整備、地方部の交通課題の解決が必要です。JR北海道が厳しい経営状況の下で、列車の減便や駅の廃止を進めており、今後の人々の生活や経済を支える鉄道の維持、地域の公共交通の確保・持続可能性が課題となっています。

地域をめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・地域の生活と産業を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実、高度情報通信網の整備

プロジェクトの概要

広域分散型社会を形成する道北地域は、南北に広がっており、高規格道路等のミッシングリンクを解消するなど高次医療を始めとする高次都市機能が集中する旭川と他の地域とのアクセス機能を強化します。また、地域の多様な主体が、隣接する道央地域を始めとする内外の諸地域と交流し、多様な連携・協働を推進するために必要な交通ネットワークの整備を図ります。ポストコロナを見据え、地域産業の更なる育成や工場建設・企業立地の促進など地域のポテンシャルを十分発揮させるため、基盤整備を含めた物流機能の強化を推進します。

主な取組

- 交通ネットワークの強化
 - ・旭川と他の地域とのアクセス強化を図るため、高規格道路を始めとする基幹的なネットワークの整備を推進します。
 - ・道央地域と連絡する高速交通ネットワークの整備を推進します。
 - ・多様な連携を推進するため、交流拠点である港湾や空港の整備を推進します。
- 物流ネットワークの強化
 - ・地域の産業や生活を支えるため、港湾の物流機能の強化、効率化を推進します。
 - ・港湾、空港や物流拠点・生産拠点と高規格道路とのアクセスを強化します。
 - ・物流システム構築に向けた取組を推進します（名寄周辺モデル地域）。
- 広域分散型社会に対応した地域交通の形成
 - ・渋滞解消に向けた道路整備など都心部へのアクセスの改善を推進します。
 - ・救急医療機関へのアクセス時間を短縮する道路整備を推進します。

令和5年度の具体的な施策内容

【道路】

- ・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）・旭川十勝道路（富良野北道路）
- ・北海道縦貫自動車道（中川～天塩）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
- ・旭川十勝道路（上富良野～中富良野）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
- ・国道40号音威子府バイパス・国道452号五稜道路
- ・国道40号天塩防災・国道232号小平防災・国道232号高砂橋架替
- ・国道239号霧立防災・国道238号浜猿防災・国道238号幌別橋架替
- ・国道40号稚内中央電線共同溝・国道40号稚内港電線共同溝
- ・「道の駅」を活用した物流効率化の取組

【港湾】

- ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤・物揚場・岸壁等の整備（留萌港・増毛港・天塩港）
- ・水産物流の効率化のための小型船だまりの整備（羽幌港）
- ・港湾物流の円滑化、港内静穏度の確保等、港湾の効率的な利用を図るための物揚場、岸壁、防波堤等の整備（宗谷港、枝幸港、鷺泊港、杓形港、香深港）

令和7年度（5年後）の目標

【道路】

- ・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進
- ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進
- ・北海道縦貫自動車道（中川～天塩）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
- ・旭川十勝道路（上富良野～中富良野）概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）
- ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7開通予定）
- ・国道452号五稜道路の推進
- ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定）
- ・国道232号小平防災の推進
- ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定）
- ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通）
- ・国道238号浜猿防災の推進（R4部分開通、R6部分開通予定）
- ・国道238号幌別橋架替の推進
- ・国道40号稚内中央電線共同溝の推進
- ・国道40号稚内港電線共同溝の推進
- ・「道の駅」を活用した物流効率化の取組の推進

【港湾】

- ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、増毛港、天塩港）
- ・小型船だまり整備の推進（羽幌港）
- ・港湾物流の円滑化、港内静穏度の確保等、港湾の効率的な利用を図るための物揚場、岸壁、防波堤等の整備の推進（宗谷港、枝幸港、鷺泊港、杓形港、香深港）

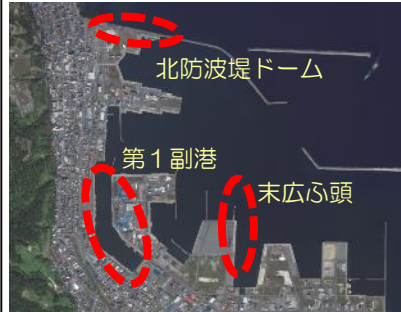
【空港】

- ・空港施設の改良・更新の完了（R4完了）（稚内空港）

- 高次医療を始めとする高次都市機能が集中する旭川と他の地域とのアクセス機能を強化します。
- 隣接する諸地域と交流し、多様な連携・協働を推進するために必要な交通ネットワークの整備を図ります。
- ポストコロナを見据え、地域産業の更なる育成や工場建設・企業立地の促進など地域のポテンシャルを充分発揮させるため、基盤整備を含めた物流機能の強化を推進します。

港湾

重要港湾 稚内港の整備



- 北海道遺産及び土木遺産に選定されている北防波堤ドームの機能を保全するため、補修工事を進めます。
- 大型クルーズ船の受入環境改善のため、末広ふ頭岸壁の改良工事を行い、平成30年度より供用開始しています。
- 第1副港は老朽化が著しく、狭い用地等による非効率な荷役状況となっているため、景観にも配慮した岸壁の改良整備を進めます。

地方港湾の整備



【宗谷港】
物揚場の整備により、慢性的な滞船や多そう係留を解消し、効率的な水産活動を支えます。

連携



道路

天塩防災（一般国道40号）



天塩防災の整備により、救命救急センターのある名寄市・旭川市への救急搬送の安全性・確実性の向上が期待されます。

空港

滑走路・誘導路改良事業

稚内空港の滑走路・誘導路は、前回の舗装改良から約20年経過しているため、多数のクラックや施工目地の開きが生じています。航空機の安全運航のため、滑走路や誘導路の舗装改良を実施し、令和2年度に完了しています。

○アスファルト劣化状況



クラックの進行



グルーピング溝の浅化